

岐阜労働局発表
平成 25 年 6 月 4 日

労働基準部 健康安全課
課長 松宮利光
地方労働衛生専門官 松野泰彦
電話 058 - 245 - 8103

職場での熱中症に注意を

気象庁の発表によれば、東海地方の今年の夏（6～8月）の平均気温は、「平年並」または「平年より高い」確率を合わせると 80%との予報で、気温の高い日が続くこれからの時期に備え、熱中症予防対策に万全を期することが重要です。

全国における職場での熱中症による死亡者数は、平成 24 年に 21 人と依然として多くの方が亡くなっています（別添資料 1）。

一方、岐阜県内における職場での熱中症による死亡者は、平成 16 年以降は発生していないものの、休業 4 日以上労働災害は、毎年発生し、昨年も 6 人が職場で熱中症が発症しています。平成 15 年以降平成 24 年までの 4 日以上の休業災害（死亡者 1 人を含め 48 人）を分析した結果、月別でみると、約 8 割は 7～8 月に発生しています。また、業種別でみると、建設業（33%）などの屋外作業で多く発生しているほか、製造業（23%）等の屋内作業でも発生していることから、屋外、屋内を問わず、高温多湿な環境では、熱中症対策を講じる必要があります（別添資料 2）。

【職場での熱中症予防対策の主なポイント】

- ・作業場にスポーツドリンクや塩飴などを常備し、こまめに水分、塩分を補給すること。
- ・こまめな換気や遮光カーテンなどを活用し、暑さ指数（WBGT 値）の低減を図ること。
- ・暑さ指数が高い作業場で、初めて作業を行う場合は、少しずつ暑さに慣れる「順化期間」を 7 日以上設けること。

【岐阜労働局における取組】

- ・別紙 1 の労働災害防止団体等（26 団体）に対し、早めに熱中症予防対策を講じるよう 5 月 27 日付けで文書要請を行いました。
- ・管内 7 箇所労働基準監督署に対し、同日付で個別事業場への指導等を強化するよう指示しました。

| 団 体 名 称 |
|--------------------------|
| (公社)岐阜県労働基準協会連合会 |
| 建設業労働災害防止協会岐阜県支部 |
| 林業木材製造業労働災害防止協会岐阜県支部 |
| 陸上貨物運送事業労働災害防止協会岐阜県支部 |
| (一社)岐阜県警備業協会 |
| 岐阜県社会保険労務士会 |
| (一社)日本ボイラ協会岐阜支部 |
| (一社)日本クレーン協会岐阜支部 |
| (公社)建設荷役車両安全技術協会岐阜県支部 |
| (一社)日本労働安全衛生コンサルタント会岐阜支部 |
| (独)岐阜産業保健推進連絡事務所 |
| (一社)岐阜労働基準協会 |
| 大垣労働基準協会 |
| (一社)飛騨地区労働基準協会連合会 |
| 東濃産業労働協会 |
| 中濃労働基準協会 |
| 恵那労働基準協会 |
| 岐阜八幡労働基準協会 |
| 岐阜県地域産業保健センター(本部) |
| 岐阜県地域産業保健センター岐阜支部 |
| 岐阜県地域産業保健センター西濃支部 |
| 岐阜県地域産業保健センター飛騨支部 |
| 岐阜県地域産業保健センター東濃支部 |
| 岐阜県地域産業保健センター中濃支部 |
| 岐阜県地域産業保健センター恵那支部 |
| 岐阜県地域産業保健センター郡上支部 |

職場での熱中症による死亡災害及び労働災害の発生状況

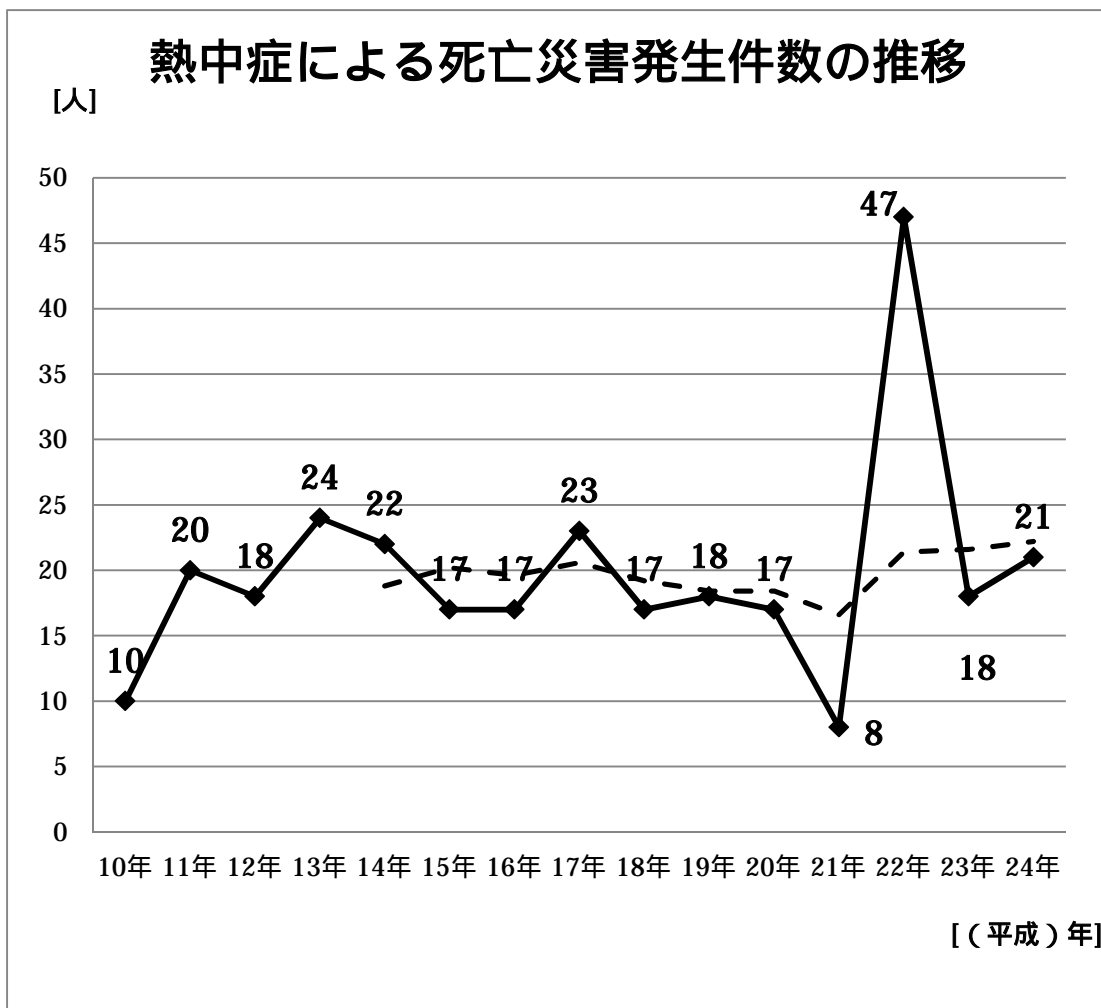
第1 平成24年の職場における熱中症による死亡災害の発生状況

1 熱中症による死亡者数の推移（平成10年～平成24年分）

職場での熱中症による死亡者数は、平成10年以降では、平成22年の47人が最高であった。それ以外の年は、概ね20人前後の年が多く、減少傾向を示していない。

熱中症による死亡災害発生件数の推移（平成10年～24年）

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 年（平成） | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 |
| 人 | 10 | 20 | 18 | 24 | 22 | 17 | 17 | 23 |
| 年（平成） | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年 | 平均 |
| 人 | 17 | 18 | 17 | 8 | 47 | 18 | 21 | 19.8 |



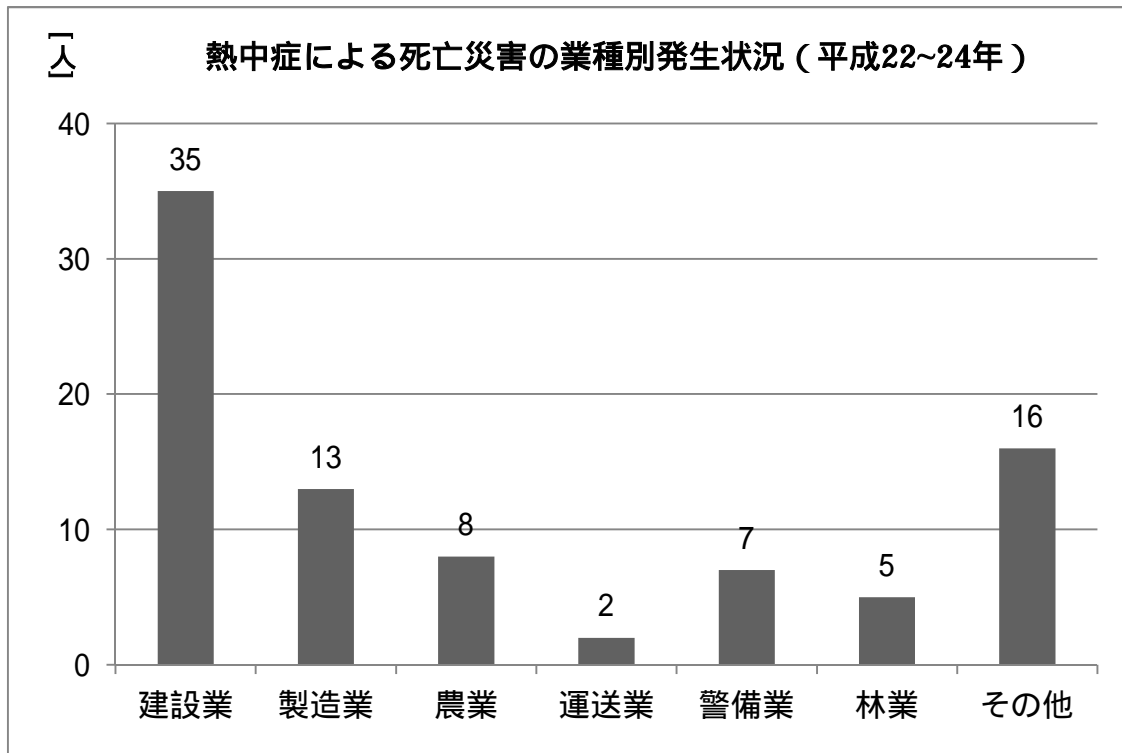
（点線は、5年平均移動直線）

2 業種別発生状況（平成 22～24 年）

過去 3 年間（平成 22～24 年）の業種別の熱中症の死亡災害の発生状況を見ると、建設業が最も多く全体の約 4 割を占めている。次いで製造業で全体の約 2 割を占めている。

熱中症による死亡災害の業種別発生状況（平成 22～24 年）

| 業種 | 建設業 | 製造業 | 農業 | 運送業 | 警備業 | 林業 | その他 | 計 (人) |
|---------|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|----------|
| 平成 22 年 | 17 | 9 | 6 | 2 | 2 | 1 | 10 | 47 |
| 平成 23 年 | 7 | | 2 | | 3 | 2 | 4 | 18 |
| 平成 24 年 | 11 | 4 | | | 2 | 2 | 2 | 21 |
| 計(人) | 35 | 13 | 8 | 2 | 7 | 5 | 16 | 86 |



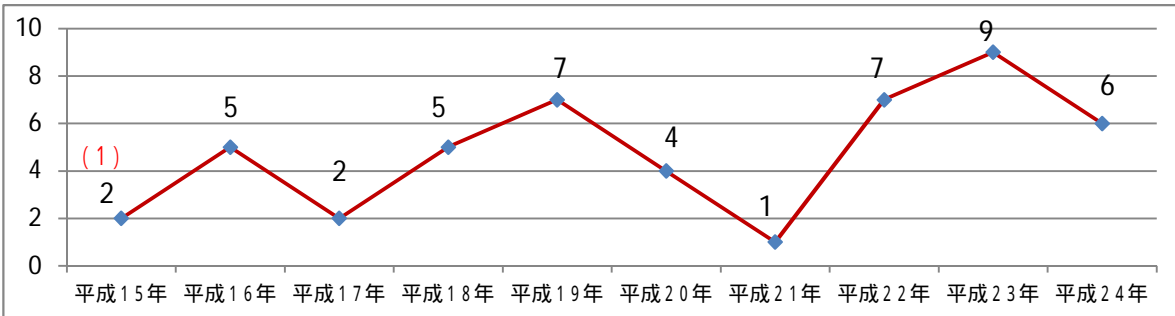
岐阜県内の熱中症発生状況(休業4日以上)

【別添資料2】

岐阜労働局

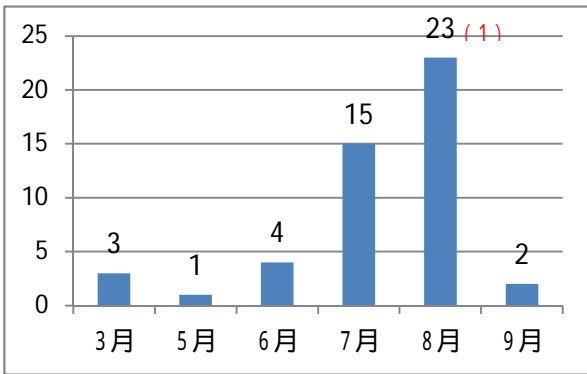
労働者死傷病報告(休業4日以上)による統計 ()内は、死亡内数

1 年別発生状況の推移

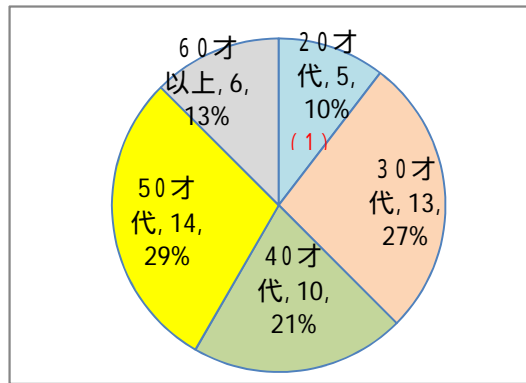


2 平成15年～平成24年(過去10年間)に発生した熱中症に関する分析 休業4日以上48人(うち死亡1人)について分析

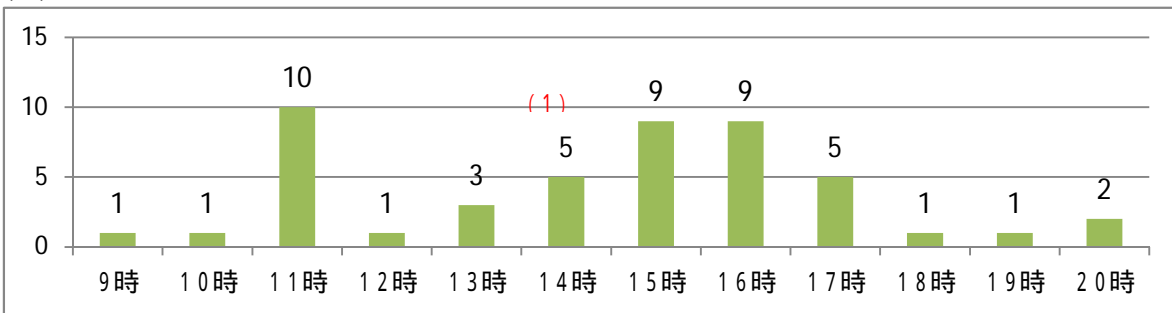
(1) 月別発生状況



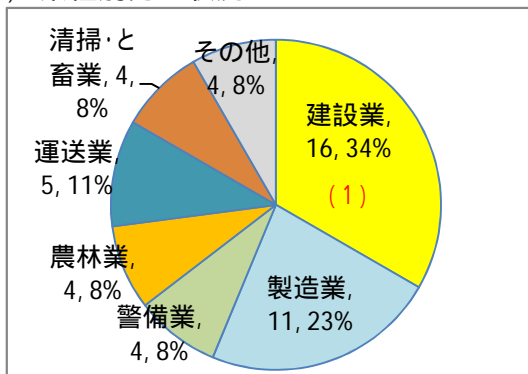
(2) 年令別発生状況



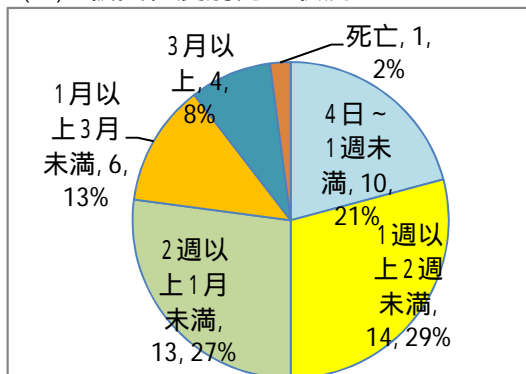
(3) 災害発生時間別発生状況



(4) 業種別発生状況



(5) 被災程度別発生状況



3 最近発生した熱中症事例

事例 1

| 業 種 | 発生月 | 発生時間 | 年令 | 職 種 | 経験期間 | 症状程度(見込み) |
|---|-----|------|------|-------|------|-----------|
| 建設業 | 7月 | 16時台 | 30才代 | 土木作業員 | 15年 | 5日 |
| 炎天下の中、駐車場の土地整備作業中、午後4時頃から体が疲れ、声がかすれ、ふらつきがあったため、水分を取りながら休憩していたが、大事をとって帰宅した。その後、けいれん症状が出たため、救急車で病院に搬送された。 | | | | | | |

事例 2

| 業 種 | 発生月 | 発生時間 | 年令 | 職 種 | 経験期間 | 症状程度(見込み) |
|---|-----|------|------|------|------|-----------|
| 建設業 | 8月 | 15時台 | 30才代 | 電気工事 | 1月 | 8ヶ月 |
| 受信施設の撤去工事中、暑さのため、足がふらついていたので、班長の指示でエアコン付きの車内で休憩していたが、その後、意識がなくなったので、救急車で病院に搬送された。 | | | | | | |

事例 3

| 業 種 | 発生月 | 発生時間 | 年令 | 職 種 | 経験期間 | 症状程度(見込み) |
|---|-----|------|------|-----|------|-----------|
| 警備業 | 7月 | 11時台 | 40才代 | 警備員 | 11月 | 3ヶ月 |
| 道路維持に伴う交通誘導業務中、暑さのため気分が悪くなったので、日陰に座ったり車内で休んだり、水分補給を行ったりしたが、回復しないため救急車で病院に搬送された。 | | | | | | |

事例 4

| 業 種 | 発生月 | 発生時間 | 年令 | 職 種 | 経験期間 | 症状程度(見込み) |
|--|-----|------|------|-----|------|-----------|
| 運送業 | 8月 | 13時台 | 50才代 | 運転手 | 10月 | 2週間 |
| 取引先の倉庫で荷物を積み込む作業中に体調に異変を感じたが、仕事を続け終了後、病院を受診した。 | | | | | | |

事例 5

| 業 種 | 発生月 | 発生時間 | 年令 | 職 種 | 経験期間 | 症状程度(見込み) |
|--|-----|------|------|-----|------|-----------|
| 接客娯楽業 | 7月 | 15時台 | 20才代 | 事務員 | 1月 | 1週間 |
| 午前中、冷房の効いた事務室で事務作業を行っていたが、午後から屋外の藤棚の下で、軽作業を行っていたところ高熱となった。 | | | | | | |